



鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

< 学校教育目標 >
地域とともに
明るく元気に生きる
明生の子

■ 全日本スーパーフォーミュラ選手権チームとの交流

「モータースポーツの魅力に多くのこどもたちが触れ、モータースポーツを通して鈴鹿市民であることに誇りをもてるよう、児童が『SUPER FORMULA』に参戦するチームのピットを訪問し、関係者と交流を行います。さらに、市民レベルでモータースポーツの普及に取り組む関係者から、鈴鹿市とモータースポーツの歩みなどについて学びます。」という市商業観光政策課の企画で5年生が出前授業とチームピットの訪問をしました。

◎チーム関係者による出前授業

大湯 都史樹選手(SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING/39号車)は北海道出身ですが、鈴鹿サーキット・レーシングスクールで腕を磨き、現在は日本最高峰の4輪レースのスーパーフォーミュラで活躍されています。

11月17日(月)の3限目に教室で大湯選手からの授業がありました。ゲストティーチャーとして初めて子どもたちの前で話をすると、と言うことでしたが大変わかりやすく、子どもたちに理解できるように言葉を選んでいる姿が印象的でした。「目標をもって、それを実現するためにはどのように工夫していくかを考え、努力していくことが大切」というメッセージを子どもたちに伝えてくださいました。

4限目は過去に実際に走っていたフォーミュラカーのエンジン始動、タイヤ交換作業やフォーミュラカーのコックピット搭乗などの体験をさせていただきました。



◎チームピット訪問

11月21日(金)には鈴鹿サーキットでThreeBond Racingのピットを訪問しました。先日学校で見せていただいたのとは別の現役のマシンでエンジンをかけていただきました。屋外でなくピット内であったこともあり、ものすごい音量で思わず耳を塞ぐ子が複数いました。また、ピット裏のテントへThreeBond Racingの監督や三宅 淳詞選手(伊勢市出身)に来ていただき、子どもたちと交流していただきました。

ピットから地下通路を通って、グランドスタンドへ。ここでは、N P O 法人鈴鹿モータースポーツ友の会の方から「鈴鹿サーキットの歴史」「鈴鹿サーキットへの本田宗一郎さんの思い」などのお話をしていただきました。

関係者の方の配慮で映像を通してでしたが、大湯選手と子どもたちが交流することもできました。グランドスタンド前の大型モニターに映し出された大湯選手は先日とは違う真剣なまなざしが印象的でした。

さて、公式練習が始まると目の前を猛スピードで駆け抜けていくマシンに夢中になって視線を送っていました。大湯選手と三宅選手が通るときは自然に拍手が起こっていました。



【ピット内の見学】



【轟音に耳を塞いで】



【三宅選手と交流】



【サーキットの歴史等】



【大湯選手がんばれ！！】



【ありがとう(ピース)】

12月の主な行事予定

- 1日(月) あいさつ運動
- 3日(水) なわとび大会(5限)
- 8日(月) よみきかせ
- 12日(金) 学校運営協議会
- 16日(火) HONDA 環境ワゴン(2年)
- 17日(水) 地区別児童会

- 19日(金) あゆみ渡し(4限授業) 給食終了
 - 22日(月) あゆみ渡し(2限授業)
 - 23日(火) 終業式
- 1月初めの予定**
- 8日(木) 始業式
 - 13日(火) 給食開始(4限授業)
 - 14日(水) 4限授業

